

# Lesson 21

## 现在形と现在進行形の違い

現在形は、「be 動詞」では、is, am, are の3つです。「一般動詞」では、動詞の原形と同じですが、主語が三人称 (= I, we, you 以外) で単数の場合は、動詞の原形の語尾に三单現の -(e)s をつけます（「三单現の s」の -(e)s の付け方については巻末の付録 R8 を参照）。

一般に、現在形は、「**現在**を中心とする習慣や固定的〔永続的、普遍的〕な状況、つまり、「**いつものこと**」を表します。例えば、次の例文の下線部が示す現在形は「**いつものこと**」(つまり「**習慣**」)を表しています。

### ① "How do you manage stress?" "I take a long bath."

- ⇒ 「どのように・あなたは管理していますか？・ストレスを」「私は行っている・長い入浴を」  
→ 「ストレス管理はどのようにしていますか？」「ゆっくりお風呂に入ります」

次の2つの下線部も「**いつものこと**」を表しています。2番目の文は「**いつものこと**」を尋ねているので、相手の職業を聞いていることになります。

### ② I'm a pharmacist. What do you do?

- ⇒ 私は薬剤師です。何を・あなたはしていますか？  
→ 私は薬剤師をしています。あなたは何をしているのですか？

「科学的な事実」や「哲学的な真理」は常に変わらないので、「**いつものこと**」と言えます。ですから、現在形で表します。

### ③ An egg floats in salt water but sinks in fresh water.

- ⇒ 卵は浮く・塩水の中で・しかし・沈む・真水の中で。  
→ 卵は塩水には浮くが、真水では沈む。

「**いつものこと**」に対し、「**今(だけ)のこと**」を言う場合は、「**現在進行形**」になります。現在進行形は「be 動詞の現在形(is, am, are) + 動詞の ing 形」で表します（動詞の ing 形の作り方は R10 を参照）。例えば、『(今) 何をしているの？』『アリに餌をあげているんだ』という次の会話は「**今(だけ)のこと**」を述べているので「**現在進行形**」になります。

④ "What are you doing, Mike?" "I'm feeding the ants."

⇒「何を・君はしているところ？・Mike」「僕は餌を与える・アリ達に」

→「何をしているの、Mike？」「アリに餌をあげているんだ」

\* What are you doing? を②の What do you do? と比較してみましょう。

● ● NOTE 予定を表す現在形

現在形は「現在の固定的な状況」を表しますが、それが更に「現時点で固定されている未来」つまり「変更の余地がない確定的な予定」を表すことになります。この場合、「いつものこと」との混同を避けるために、次の下線部(黒)のように、未来を表す副詞(句)を添えるのが一般的です。

⑤ "Are you free on Friday?" "Uh... no, I have a date."

⇒「あなたは空いていますか？・金曜日は」「えっと・いいえ・私にはある・デートが」

→「金曜日は空いてる？」「えーっと、だめなの。デートがあるの」

\* on Friday は「直近の金曜日」を意味するので1番目の文では「今度の金曜日」を指します。「毎週金曜日は空いてる？」という「いつものこと」を表す文は Are you free on Fridays? とします。

⑥ The exhibition takes place from April 20th to May 2nd.

⇒ 展示会は行われる・4月20日から・5月2日まで。

→ 展示会は4月20日から5月2日まで開催されます。

Lesson 6 の① (I'm out of the country on business till Friday night.) と Lesson 17 の② (When does the next flight to Bangkok depart?) も予定を表す現在形です。

## VOCABULARY

- manage** [mænɪdʒ] .....  
.....を管理する、.....を制御する、.....を手なずける
- stress** [strɛs] .....  
緊張、圧迫、ストレス、強勢
- take a bath** [bæθ | báθ] .....  
入浴をする (動) **take a shower** シャワーを浴びる)
- pharmacist** [fá:rma:sist]
- What do you do?**
- float** [flóut]
- sink**
- fresh water**
- feed** [fi:d]
- ant** [ént]
- free** [frí:]
- exhibition** [éksəbí:ʃn]
- take place** [pléis]
- from ... to ~**

- 動** ...を管理する、...を制御する、...を手なずける  
**名** 緊張、圧迫、ストレス、強勢 **動** ...を強調する  
**動** 入浴をする (動) **take a shower** シャワーを浴びる)
- 名** 薬剤師 (名) **pharmacy** [fá:rma:sí] 薬局)  
**慣** (仕事は) 何をしているのですか? (\*通常、職業を尋ねる表現だが、曖昧な文脈では最後に for a living (生活の為に) を付け加える)
- 動** 浮く、浮かぶ  
**動** 沈む、沈下する、...を沈める  
**名** 真水、淡水 (名) **salt water** 塩水)  
**動** ...に餌 [食べ物] を与える **名** 餌、食べ物  
**名** (虫の) アリ  
**形** 用事がない、暇な、手が空いている  
**名** 展示、展覧、展示(会)、展覧(会) (動) **exhibit** [igzibít] ...を展示する)  
**動** 行われる、開催される、起こる  
**副** ...から~まで

# Lesson 22

## ⇒ 状態動詞の現在形

Ch.  
3

前のレッスンで、現在形は「いつものこと」を表し、現在進行形は「今（だけ）のこと」を表すと説明しました。しかし、次の下線部の「現在形」はいずれも、「いつものこと」ではなく「今（だけ）のこと」を表しています。

### ① "You look pale. What's wrong?" "I have a headache."

⇒ 「あなたは見える・青白いと。何が問題ですか？」「私は持っている・頭痛を」  
→ 「顔色が悪いけど、どうかしたの？」「頭痛がするんだ」

### ② "What's that noise?" "What noise? I don't hear anything."

⇒ 「何ですか？・あの物音は」「何の音？ 私は聞こえていない・いかなることも」  
→ 「何？ あの音」「何の音？ 何も聞こえないよ」  
\* What noise? は What noise is it? の下線部が省略されたものです。What は noise を修飾しています。

下線部は全て「…している」「…になっている」という「状態」を表す動詞で、これを「**状態動詞**」と呼びます。他方、「…する」「…になる」という「動作」を表す動詞を「**動作動詞**」と呼びます。大半の動詞は動作動詞です。一般に、「動作動詞」は「今（だけ）のこと」を「現在進行形」で表しますが、「状態動詞」は「いつものこと」も「今（だけ）のこと」も共に「現在形」で表します。よく用いられる状態動詞には次のようなものがあります。

be 動詞	(…である、いる、ある)	have	(…を持っている)
hear	(…が聞こえる)	see	(…が見える)
look	(…に見える)	feel	(…だと感じる)
smell	(…なにおいがする)	taste	(…な味がする)
like	(…が好きだ)	want	(…が欲しい)
think	(…だと思う)	remember	(…を覚えている)
know	(…を知っている)	understand	(…を理解している)

(注) 状態動詞は知覚や好みなど「自分の意志でコントロールできないもの」に多く見られます。より詳しい一覧表が巻末の付録 R11 に掲載されています。

(注) have (…を食べる、…を経験する)、see (…と付き合う)、look (見る)、think (頭を使う、考える) は ( ) 内の意味では動作動詞として用います。

動作動詞と状態動詞の違いを理解するために、例文②を次の③と比較してみましょう。②の hear (…が聞こえている) は「状態動詞」なので「今(だけ)のこと」を「現在形」で表現していますが、③の listen (耳を傾ける) は「動作動詞」なので「今(だけ)のこと」を「現在進行形」で表現しています。

### ③ Are you listening to me? I'm talking to you!

- ⇒ あなたは耳を傾けているの？・私に。私は話をしている・あなたに。  
 → 話を聞いてるの？ 私はあなたに話をしているよ！

それから、動詞の中には、動作動詞と状態動詞の両方で用いるものがあります。例えば、次の例文④と⑤の think は共に「今(だけ)のこと」を表していますが、④は「思っている」という「状態動詞」の意味なので「現在形」になり、⑤は「頭を使う、考える」という「動作動詞」の意味なので「現在進行形」になります。

### ④ "I think that's unfair." "I don't think so."

- ⇒ 「私は思っている・それが不公平だと」「僕は思っていない・そうだと」  
 → 「それって不公平だと思う」「僕はそう思わない」

### ⑤ Be quiet for a second. I'm thinking.

- ⇒ いてください・静かで・少しの間。私は考えている最中だ。  
 → 少し静かにして。今、考え方をしているの。

## ● VOCABULARY

- pale [peɪl] *pæl*
- What's wrong? [rɒŋ]
- headache [hedeɪk]
- listen to … [lɪsn]
- talk to … [tɔ:k]
- unfair [ʌnfɪər, ʌnfɪər]
- so [sóu]
- quiet [kwaiət]
- for a second [sékənd]

- |   |   |
|---|---|
| 形 | (色の濃さが) 薄い、淡い、青白い、青ざめた                  |
| 慣 | どうかしたの？(同 <b>What's the matter?</b> )   |
| 名 | 頭痛 (名) <b>stomachache</b> [stʌməkæk] 腹痛 |
| 動 | …(の音・声・話) に耳を傾ける、…を聴く                   |
| 動 | …と話をする、…に話しかける                          |
| 形 | 不公平 [不公正、不当] な (反 <b>fair</b> 公平な)      |
| 副 | そのように、そんなふうに                            |
| 形 | 静かな、無口な (名) <b>静けさ</b>                  |
| 副 | 少しの間 (同 <b>for a moment [minute]</b> )  |

# Lesson 23

## 今 現在進行形：近い未来を表す場合

次の現在進行形の意味を考えてみましょう。

### ① "Where are you going?" "I'm going to the dentist."

- ⇒「どこへ・君は行こうとしていますか?」「私は行こうとしている・歯科医院へ」  
→「どこへ行くの?」「歯医者に行くところ」

下線部は「今進んでいる」という意味で、まだ目的地に到達していない状況を表しています。つまり、現在進行形は「進行中でまだ完了していない状態」を表します。次の下線部の現在進行形も「落ちる」という動作が完了していません。

### ② "Help! I'm falling!" "Wake up, Mike! It's time for school!"

- ⇒「助けて! 僕は落ちかかっている!」「目覚めなさい・Mike。今は時間です・学校の」  
→「助けてー! 落ちるー!」「起きなさい、Mike! 学校へ行く時間よ!」

下線部を「(既に)落ちている」と解釈することはできません。それから、「落ちる(fall)」「止まる(stop)」「出発する(leave)」「到着する(arrive)」「死ぬ(die)」のような、「継続できない、一瞬で終了する動作」を表す動詞の「現在進行形」は、「…しかかっている」「…しようとしている」という「寸前の状態」を表します。次の例文③の get off(降りる)と④の come(相手[自分]の所に到達する)も同じタイプの動詞なので、③の現在進行形は「降りている」ではなく「降りかけている」に、④は「到達している」ではなく「到達しかかっている」になります。

### ③ "Excuse me, I'm getting off!" "Hey, you forgot your umbrella!"

- ⇒「すみません・私は降りかけています【降りようとしています】!」「ちょっと!・あなたは忘れた!・あなたの傘を」  
→「すみません、降ります!」「ちょっと! 傘を忘れましたよ!」  
\* まだ降りる動作を開始していなくても I'm getting off! と言うことができます。

### ④ "Cathy, hurry up! We'll be late." "I'm coming."

- ⇒「Cathy・急ぎなさい! 我々は遅れることになる」「私はそちらへ行こうとしている」  
→「Cathy、早くしろよ! 遅れるぞ」「今、行くわ」  
\* まだ動き始める前でも I'm coming. と言えます。

また、「継続できない、一瞬で終了する動作」を表す動詞の現在進行形は「寸前」の状況だけでなく、「…することになっている」という「少し先の未来」を表すこともできます。この場合、「寸前」の意味との混同を避けるために、**未来の副詞(句)**(次の例文では黒の下線部)を添えるのが一般的です。

### ⑤ "How soon are we taking off?" "In ten minutes."

⇒「あとどのくらいで・私達は離陸することになっていますか?」「10分後です」

⇒「あとどのくらいで離陸しますか?」「10分後です」

\* How soon については Lesson 18 の表を参照。

### ⑥ "I'm getting married in June." "Congratulations!"

⇒「私は結婚することになっている・6月に」「おめでとう!」

⇒「私、6月に結婚するの」「おめでとう!」

\* 瞬間的な動作の完了を表さない動詞であっても、We're eating out tonight. (今夜は外食します) のように未来の副詞を添えて少し先の未来を表すことがあります。

最後に、これまでに学習した現在形と現在進行形の意味をまとめておきます。「現在進行形」は奥が深いので、数多くの用例を踏む必要がありますが、まずは、次の表をしっかりと頭に入れておいてください。

	現在形	現在進行形
動作動詞 (…する、…になる)	① いつも…している ② …することになっている	① 今…しているところだ ② …しかかっている ③ …することになっている
状態動詞 (…している、…である)	① 今…である ② いつも…である	* 原則として用いない

(注) 「継続できない、一瞬で終了する動作」を表す「動作動詞」の「現在進行形」は通常「…しかかっている」の意味になりますが(例文③④)、主語が「複数」の場合には、「次々と…している」という意味にもなります。例えば、Passengers are getting off. は「乗客が降りかけている」という通常の解釈に加え、「乗客が次々と降りている」という解釈も可能です。同様に、The chickens are dying. は「その鶏達は死にかけている」と「その鶏達は次々と死んでいる」という2通りの解釈が可能です。

(注) 「\*原則として用いない」には R11 \* や「be 動詞の現在進行形」(Lesson 145 [NOTE])のような例外があります。



## VOCABULARY

Ch.  
3

- dentist** [déntist]
- fall** [fɔ:l]
- wake up** [wéik]
- It is time for** ….
- Excuse me.** [ikskjú:z]
- get off**
  
- forget** [fɔrgét]
- hurry up** [há:ri] [há:ri]
- late** [léit]
- soon** [sú:n]
- take off**
- in** 時間
- get married** [márid]
- Congratulations!**  
[kongrætjuléiʃənz]

- |   |                       |                   |
|---|-----------------------|-------------------|
| <b>名</b> 歯科医、歯科医院   | <b>動</b> 落ちる、下落する、倒れる | <b>名</b> 落下、降下、下落 |
| <b>動</b> 目を覚ます (動) <b>wake ... up</b> …を目覚めさせる                      | <b>慣</b> …の時間です。      |                   |
| <b>慣</b> すみません。失礼します。   |                       |                   |
| <b>動</b> (電車・バス・船などから) 降りる、…から降りる (動) <b>get out</b> (車・タクシーから) 降りる |                       |                   |
| <b>動</b> 忘れる、…を忘れる、…を置き忘れる  |                       |                   |
| <b>動</b> 急ぐ   |                       |                   |
| <b>形</b> 遅れた、遅刻した   | <b>副</b> 遅く、遅くまで      |                   |
| <b>副</b> すぐに、間もなく、(予定より) 早く   |                       |                   |
| <b>動</b> 異なる場所へ飛んで立つ (反) <b>land</b> [lænd] 着陸する                    |                       |                   |
| <b>副</b> <時間>後に (副) <b>within</b> 時間 <時間>以内に                        |                       |                   |
| <b>動</b> 結婚する (動) <b>be married</b> 結婚している                          |                       |                   |
| <b>慣</b> おめでとう！ (*末尾に s が付く点に注意)                                    |                       |                   |

### 例文に登場する主なキャラクター（5）



**Cathy (Catherine)**  
Smith 家の次女。  
薬剤師。趣味は旅行。  
**Andy** と結婚後ニューヨークに引っ越すが後に離婚。

# Lesson 24

## ☛ 過去形：過去の出来事と習慣を表す

「過去形」は通常、動詞の原形の語尾に -ed を付けて作ります（このタイプの動詞を「規則動詞」と呼びます。-ed の付け方は巻末の付録 R12 を参照）。しかし、be 動詞や have をはじめとする約 200 の動詞は、それ以外の方法で過去形を作ります（このタイプを「不規則動詞」と呼びます。不規則動詞の活用は R13 を参照）。過去形は「過去の出来事・行為・状態」を表します。日本語では「…した」「…だった」「…していた」のように訳されますが、主に、次の 2 つの内容を表します。

(1)	過去のある時点での出来事・行為・状態を表す。
(2)	過去の習慣や固定的な状態を表す。

次の例文①～③は、上記(1)の例です。

① Fred graduated from law school 15 years ago.

⇒ Fred は卒業した・ロースクールから・15年前に。

→ Fred は 15 年前にロースクール (= 法科大学院) を卒業した。

② Mike hung a wet cloth in front of the fan.

⇒ Mike は吊した・濡れた布を・前に・扇風機の。

→ Mike は濡れた布を扇風機の前に吊した。

③ Ben looked pretty cute in his school uniform.

⇒ Ben は見えた・とても可愛らしく・を身にまとい・彼の学校の制服。

→ Ben は制服姿がとても可愛らしかった。

次は(2)の例です。現在形が「現在の習慣や固定的な状態」を表すように、過去形もまた「過去の習慣や固定的な状態」を表すことができます。

④ "Where did you go to college?" "I attended Ohio University."

⇒ 「どこで・あなたは通いましたか？・大学に」「私は通いました・オハイオ大学に」

→ 「大学はどちらに通われましたか？」「オハイオ大学です」

⑤ **Cathy and Andy lived in New York for two and a half years.**

⇒ Cathy と Andy は暮らしていた・ニューヨークに・の間・2と半分の年。

→ Cathy と Andy は2年半、ニューヨークで暮らしていた。

「過去形」は過去の出来事・行為・状態を表すだけで、現在との接点を持ちません。これは後に学習する「現在完了形」を理解する上で重要なポイントになります。

## VOCABULARY

**graduate from** [grædʒuēt]

**動** …を卒業する (**名** **graduation** [grædʒuēiʃən] 卒業)

**law school** [lɔ:l]

**名** ロースクール、法科大学院 (\*法律家の養成を目的とした学校) (**名** **law** 法律)

**… ago** [əgō]

**副** (今から) …前に (**副** **… before** その…前に)

**hang** [hæŋ]

**動** …を吊す、…を掛ける、垂れ下がる (\*例文②の hung は過去形)

**wet**

**形** 濡れた、湿った、乾いていない

**cloth** [klɔ:(;)θ]

**名** 布、布地、クロス (**名** **clothes** [klôuz, klôuðz] 服)

**in front of** [frânt]

**前** …の前に、…の前で、…の前の

**fan** [fæn]

**名** 扇風 [送風] 機、うちわ、ファン、熱心な支持者

**look** [lûk]

**動** …に見える、見る、目を向ける

**pretty** [príti]

**副** かなり、とても **形** かわいい、美しい

**cute** [kjú:t]

**形** かわいい、美人な

**in 衣服**

**副** <衣服>を身につけて **形** <衣服>を身につけた

**uniform** [jú:nifôrm]

**名** (学校や軍隊などの) 制服、ユニフォーム

**Where do you go to college [school]?**

**慣** 大学 [学校] はどこへ通っていますか？

(\*通常は学校名を尋ねる場合に用いる)

**attend** [ətēnd]

**動** <学校など>に通う、…に出席 [参列] する

**university** [ju:nivîr'sitî]

**名** 大学、総合大学 (**同** **college** 大学、単科大学)

**… and a half ~**

**名** …半の～ (\*「～」には複数形の名詞を置く)

# Lesson 25

## 17 過去進行形

「was [were] + 動詞の ing 形」を「過去進行形」と呼びます。過去進行形は「(その時は) …しているところだった」という意味で、「過去のある時点における進行中の行為や出来事」を表します。次の例文の下線部は「昨日の今頃」における進行中の行為を表しています。

### ① "What were you doing at this time yesterday?"

"I was looking after my granddaughter."

- ⇒ 「何を・あなたはしていましたか?・今頃・昨日の」「私は世話をしていた・私の孫娘を」  
→ 「昨日の今頃は何をしてたの?」「孫娘の世話をしていたわ」

現在進行形が「…しかかっている」という「寸前の状態」や、「…することになってる」という「予定」を表すように (Lesson 23)、「過去進行形」も「…しかかっていた」「…することになっていた」という過去のある時点での「寸前の状態」(例文②) や「予定」(例文③) を表すことができます。

### ② The lecture was ending when Joe got there.

- ⇒ 講義は終わりかけていた・以下の時には・Joe が着いた・そこへ。  
→ 講義は、Joe が着いた時には、終わりかけていた。

### ③ Pat was soon moving into an apartment close to work.

- ⇒ Pat はまもなく引っ越しすることになっていた・マンションへと・職場に近い。  
→ Pat は近く、職場に近いマンションに引っ越しすることになっていた。  
\* close to work は形容詞句で名詞 apartment を修飾しています。  
\* この文は Pat was about to move into ... としても同じです ('be about to Vb' は「まもなく V する (ことになっている)」という意味)。



## VOCABULARY

- at this time** ...
- look after** ...
- granddaughter** [grændðɔ:tər]
- lecture** [lɛktʃər]
- end**
- when**
- get** 場所の副詞
- move** [muv]
- apartment** [əpə:tment]
- close to** ... [kləus]
- work** [wɔ:rk]

**副** …の今頃（は）（＊「…」には last Friday、next week のような時を表す副詞を置く）

**動** …の世話をする、…の面倒を見る

**名** 孫娘（名）**grandson** [grændzɔ:n] 孫（息子）  
granddaughter の d は発音しない）

**名** 講義、講演

**動** 終わる、…を終わらせる **名** 終わり、末、端

**接** ~する [～した] 時に（＊接続詞については Chapter 12 の副詞節で詳しく説明）

**動** …にたどり着く（＊「場所の副詞」は there、here、home、to + 名詞など）

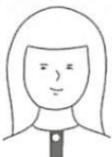
**動** 引っ越す、移動する、…を移動させる

**名** マンション、アパート（＊ mansion は「大邸宅」「屋敷」という意味であることに注意）

**形** …近くの **副** …近くに

**名** 職場（＊主に前置詞 to, at, from の後ろで用いる）

### 例文に登場する主なキャラクター（6）



**Pat (Patricia)**

Joe の同僚。Joe を振つて取引先の Mr. Lee と結婚。東南アジアに転居後、現地で英語教室を開く。

# Lesson 26

## 现在完了形：結果と完了の用法

「have [has] + 過去分詞」を「現在完了形」と呼びます。「過去分詞」の作り方は、規則動詞なら動詞の原形の語尾に -ed を付け、不規則動詞ならそれ以外の形にします（付録 R13 を参照）。現在完了形の肯定文、否定文、疑問文は次の形になります（過去分詞は Vp.p. と表記）。

	短縮しない形	短縮形
肯定文	主語 + have + Vp.p.	主語 've + Vp.p.
	主語 + has + Vp.p.	主語 's + Vp.p.
否定文	主語 + have not + Vp.p.	主語 + haven't + Vp.p. 主語 've not + Vp.p.
	主語 + has not + Vp.p.	主語 + hasn't + Vp.p. 主語 's not + Vp.p.
疑問文	Have + 主語 + Vp.p. ? Has + 主語 + Vp.p. ?	
否定疑問文	Have + 主語 + not + Vp.p. ? Has + 主語 + not + Vp.p. ?	Haven't + 主語 + Vp.p. ? Hasn't + 主語 + Vp.p. ?

（注）日常会話では短縮形を用います。短縮しない形は書きことばか not を強調する場合です。「否定疑問文」の「短縮しない形」は非常にフォーマルな表現です。

「現在形」は過去から切り離して現在のことを述べ、「過去形」は現在から切り離して過去のことを述べますが、「現在完了形」は過去と結びつけて現在のことを述べます。例えば、次の例文の「失った」は過去の出来事ですが、話し手の意識は「現在」の「失っている状況」にあります。

### ① Oh no! I've lost my wallet! What should I do?

- ⇒ ああ何ということ！私は失ってしまった・私の財布を。何を・私はすべきだろう？  
→ ああ、何てことだ！財布を無くしてしまった。どうしよう。

①の文を過去形 (I lost my wallet!) にすると、現在との接点がなくなり、「単なる過去の出来事」になります。現在完了形にすることで、「(過去に無くした結果) 現在、ない」という意味にできます。次の2つの例文で現在完了形が使われているのも、②「現在は本国にいる」、③「現時点で決めていない」という意味で、話し手の意識が「現在」にあるからです。

**(2) Cathy has just returned from her trip abroad.**

⇒ Cathy はつい先頃戻ったばかりだ・から・彼女の旅行・海外での。

→ Cathy はつい先頃、海外旅行から戻ってきたばかりだ。

\* abroad は trip を修飾しています。abroad は副詞ですが、場所を表す他の副詞 here (Lesson 107 ④), there, home (Lesson 55 ④), above, below (Lesson 73 ③) などと同様、名詞の直後に置く場合に限り、形容詞的に名詞を修飾します。

**(3) "When will the wedding be?" "We haven't decided yet."**

⇒ 「いつ・結婚式はありますか?」「私達は決め終えていない・まだ」

→ 「結婚式はいつ?」「まだ決めていないんです」

仮に、例文③の現在完了形 (We haven't decided) を現在形 (We don't decide) にすると、「私達は(いつも)決めない」という「習慣」を表すことになります。また、現在進行形 (We're not deciding) にすると、「私達は(今)決めようとしていない」という「寸前の状況」を表すことになります。ですから、「まだ決めていない」という意味は現在完了形でしか表せません。

このレッスンで学習した現在完了形の意味をまとめると次のようになります。

(1)	最近の過去に…して現在に至っている
(2)	最近の過去に…し終えて現在に至っている

(注) 「最近の過去に」の「最近」ということばに注意してください。現在完了形は「遠い昔の行為や出来事」を起源にして用いることはできません。

ちなみに、(1)を「結果」の用法、(2)を「完了」の用法と呼びます。例文①と②は「結果」の用法、③は「完了」の用法と考えられます(両者の区別がつかない場合も多々あります)。これらの用法は、日本語では「…した」「…している」と訳せますが、和訳で覚えようとすると、過去形、現在形との違いがわからなくなるので、「過去との接点【つながり】がある現在形」と覚えてください。

## ● ● VOCABULARY

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> <b>wallet</b> [wálit   w5-]          | 名 (お金やカードを入れる) 財布                             |
| <input type="checkbox"/> <b>What should I do?</b> [fjud, fəd] | 慣 どうしたらいいのだろう? ; どうしよう。                       |
| <input type="checkbox"/> <b>just</b> [dʒʌst]                  | 副 たった今、今しがた、つい最近、つい先頃                         |
| <input type="checkbox"/> <b>return</b> [rit5:rn]              | 動 戻る、帰る、…を返す 名 帰ること、返すこと                      |
| <input type="checkbox"/> <b>trip</b> [tríp]                   | 名 (旅行や商用の) 旅、遠出、出張                            |
| <input type="checkbox"/> <b>abroad</b> [əbró:d]               | 副 外国に、外国で (同 <b>overseas</b> [ðuvər'si:z])    |
| <input type="checkbox"/> <b>When will &lt;S&gt; be?</b>       | 慣 <S> はいつある【行われる】のですか?                        |
| <input type="checkbox"/> <b>wedding</b> [wedíŋ]               | 名 結婚式、婚礼                                      |
| <input type="checkbox"/> <b>decide</b> [disái'd]              | 動 (...を) 決める (名 <b>decision</b> [dísí'ʃn] 決定) |
| <input type="checkbox"/> <b>yet</b>                           | 副 ((否定文で)) まだ、((疑問文で)) もう                     |

# Lesson 27

## 👉 現在完了形：経験の用法

Ch.  
3

前のレッスンでは、現在完了形が「過去に…して現在に至っている」という意味であることを学びましたが、この意味はまた、「今までに…したことがある」という「現時点までの経験」を表すことになります（これを「経験」の用法と呼びます）。例えば、「私は過去に1、2度だけこの機能を使って現在に至っている」という次の例文は、「私は今まで1、2度だけこの機能を使ったことがある」という「経験」を述べていることになります。

### ① I've only used this function once or twice.

- ⇒ 私はただ使っただけで今に至っている・この機能を・1度もしくは2度。  
→ この機能は1、2度しか使ったことがない。

「経験」の用法は通常、次のような（主に「回数」を表す）副詞を伴います。

never (1度も…ない)	ever (1度でも)	before (以前に)
once (1度、1回)	twice (2度、2回)	… times (…度、…回)

言い換えると、このような副詞の存在が現在完了形を「経験」の意味にすると言えます。次の2つの例文を、副詞（黒の下線部）に注意して読んでみましょう。

### ② "Have you ever been to Hong Kong?" "Yes. I went there ten years ago."

- ⇒ 「あなたは過去に一度でも行って今に至っていますか？・香港へ」「はい。私は行きました・そこへ・10年前に」  
→ 「香港へ行ったことはありますか？」「ええ、10年前に行ったことがあります」  
※ Yes. には Yes, I have. の I have が省略されています。

### ③ Haven't we met somewhere before?

- ⇒ 私達は過去に会って今に至っていませんか？・どこかで・以前に。  
→ 以前どこかでお会いしていませんか？

ここで一つ注意点があります。現在完了形は話し手の意識が「現在」にあります。ですから、「昨日 (yesterday)」「先週 (last week)」「2年前に (two years ago)」



「いつ (when)」のような、明確に過去の時点を意識させる副詞と共に用いることはできません (before (過去に) や just (今しがた、つい最近) のような漠然とした副詞なら現在に対する話し手の意識を邪魔しないので用いることができます)。例えば、「私は 10 年前にそこへ行ったことがあります」の英訳を、下線部の日本語につられて、I have been there ten years ago. と現在完了形にするのは間違います (正しい英訳は例文②の 2 番目の文です)。

### ● ● NOTE 過去形による現在完了表現

日常のくだけた会話 (特に ((米)) に顕著) では、本来、現在完了形で表すことを簡略化して「過去形」で表すことがあります。例えば、Lesson 26 ①の I've lost my wallet! を I lost my wallet! と言うことがあります。また、I've just arrived in Tokyo. (今東京に着いたところです) を I just arrived in Tokyo. と言ったり、You haven't done your homework yet. (君はまだ宿題を終えていない) を You didn't do your homework yet. と言ったり、Have you ever tried sashimi? (刺身を食べてみたことはありますか?) を Did you ever try sashimi? と言ったりします。この簡略化は、特に、just、yet、ever、already のような「現在完了で頻繁に用いられる副詞」がある場合によく行われます。米国のドラマや映画を見ているとよく出てきますので、頭に入れておくとよいでしょう。

### ● ● VOCABULARY

**only** [óunli]

**副** ((否定的に用い)) …だけ (しかない) (\* never や always と同様、中位に置くことが多い (R23 参照))

**function** [fʌŋkʃn]

**名** 機能、役割、関数 **動** 機能する

**have been to** ...

**慣** …へ行った [来た] ことがある、…を訪れたことがある (\* have gone to … は「…へ行ったことがある」「…へ行ってしまって (今ない)」という意味)

[bɪn | bɪ:n]

**副** (今から) …前に (\*過去の時点から見て「その…前に」は「… before (that)」「… earlier」とする)

**ago** [əgō]

**動** (…と) 出会う、(…と) 会う (\*例文③のように主語が複数の場合は「互いに会う」という意味にもなる)

[əgō]

**meet** [mi:t]

**副** どこかで、どこかへ (\*通常、疑問文では anywhere を用いるが、例文③のように肯定の答えを期待・予想する場合は somewhere を用いる)

[sámhwèər]

# Lesson 28

## 现在完了形：継続の用法

現在完了形の「過去に…して現在に至っている」という意味を次の例文に当てはめてみましょう。

### ① "I've known him *since childhood.*" "Oh, have you?"

⇒ 「私は過去に知って今に至る・彼を・子供時代以来」「えっ・君はそうだったの？」

→ 「彼のことばは子供の頃から知ってるよ」「えっ、そうなの？」

\* 2番目の文は後ろに known him since childhood が省略されています。

読み下し訳と意訳からわかるように、「過去に…して現在に至っている」は「過去から現在までずっと…し続けている【…し続けてきた】」という意味にもなります（これを「継続」の用法と呼びます）。

次の例文は「過去に食べて現在に至っている」、すなわち、「過去に始まった食べる行為が現在まで続いた」という意味です。

### ② Fred has eaten nothing but fast food *for a week now.*

⇒ Fred は過去に食べて今に至る・無を・ファストフード以外の・1週間・現在で。

→ Fred はこの1週間ファストフードしか食べていない。

「継続」の用法は通常、次のような「期間」や「起点」を表す副詞を伴います。

**for … (…の間)    How long (どれくらいの間)    since … (…以来ずっと)**

継続の用法の否定形は「現在までずっと…していない」という意味になります。

### ③ I haven't seen you *for ages. How have you been?*

⇒ 私は過去から会わずに今に至っている・あなたに・長い間。どのようにして・あなたは過去から今までいたのですか？

→ ひさしぶりだね。どうしてた？

\* ここでの seen は「…に会う」という動作動詞です。

\* How have you been? の現在完了形も継続の用法です。

また、継続の用法ではよく現在完了進行形 (have [has] been + 動詞の ing 形) が用いられます。現在完了進行形は、ふつうの現在完了形と比べて感情の発露が大きく生き生きとした表現なので、会話でよく用いられます。

#### ④ How long have you been working for your present employer?

- ⇒ どれくらいの間・君は過去から働き続けてきたのか・君の現在の雇用主のために。
- ⇒ 今この会社に勤めてどのくらい経ちますか？
- \* この文を、How long have you worked ... とすることもできます。

#### ⑤ Lately, things haven't been going well at work.

- ⇒ 最近・物事が（今まで）ずっと行き続けていない・うまく・職場で。
- ⇒ こここのところずっと職場でうまく行っていないんだ。
- \* 下線部を haven't gone とすることもできますが、「会話文」としては上記の方が自然に聞こえます。

### ● VOCABULARY

□ **childhood** [tʃaɪldhʊd]

名 子供時代、小児期

□ **nothing but** ...

名 …以外の何も（ない）、…だけしか (\* but は「…以外の」という意味の前置詞)

□ **fast food** [fæst | fæst]

名 ファストフード、即席料理

□ **ages** [eɪdʒz]

名 長い間、長期間（同 a long time）

□ **How have you been?**

慣 どうしていましたか？；元気でいましたか？

（同 How have you been doing?）

□ **work for** ...

動 <人>の下で働く、<会社>に勤める

□ **present** [préznt]

形 現在の、今の、目下の

□ **employer** [implɔɪər]

名 雇用主、(雇用主の) 会社

□ **lately** [leɪtlɪ]

副 最近、近頃（\*主に現在完了形の文で用いる）

□ **go well**

動 ((物事が)) うまく行く、順調に進む

□ **at work**

副 仕事場〔職場、会社〕で

# Lesson 29

## 過去完了形：結果・完了・経験・継続の用法

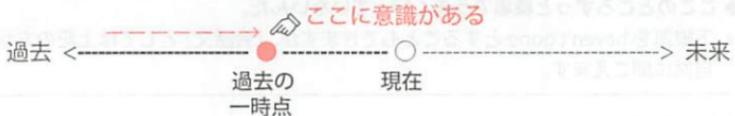
次は「過去完了形」(had + 過去分詞)です。現在完了形との比較で説明します。

「現在完了形」は、話し手の意識が「**現在**」に置かれている、「過去との接点がある**現在形**」です。

Ch.  
3



「過去完了形」は、話し手の意識が「**過去の一時点**」に置かれている、「より以前の過去との接点がある**過去形**」です。



つまり、「過去完了形」は現在完了形が「**過去の一時点**」へとシフトしたもので、現在完了形と同様に、「結果」「完了」「経験」「継続」の用法があります。

過去完了形のポイントである「**過去の一時点**」を意識するために、「**その時点で**」「**その時点まで(に)**」ということばを補って、次の例文を読んでみましょう。

① I tried to contact him, but he had already gone home.

⇒ 私はしようとした・連絡を取ることを・彼に・しかし・彼は**その時点**すでに  
行ってしまっていた・自宅へ。

⇒ 彼と連絡を取ろうとしたのですが、彼は既に帰宅していました。

② Betty had never heard of the author before.

⇒ Betty は**その時点**で一度も耳にしたことがなかった・その著者のことを・以前には。

⇒ Betty はそれまでその著者のことを一度も耳にしたことがなかった。

\* never と before は経験の用法でよく一緒に用いられます。

\* heard of を heard にすると「その著者の**発言**を耳にする」という意味になります。



③ Hank was 65 and had had health problems for several years.

⇒ Hank は 65 歳だった・そして・その時点で抱え続けていた・健康問題を・数年間。  
 → Hank は 65 歳で、過去数年間、健康問題を抱えていた。

また、「継続」の用法ではしばしば過去完了進行形（**had been + 動詞の ing 形**）が用いられます。これは現在完了進行形と同様、その状況を生き生きと伝える働きがあります。次の例文の下線部は **had gained** としても「継続」の意味になりますが、過去完了進行形にした方が「太ってきている」状況がリアルに伝わります。

④ Fred had been gaining weight for the last few years.

⇒ Fred は その時点まで増し続けていた・体重を・直近の数年間。  
 → Fred はそれまで数年間、体重が増え続けていた。

● ● NOTE

継続を表す「過去形」

過去完了形は「その時点で」「その時点まで(に)」という「過去の一時点」を念頭において用います。ですから、次のように、「過去の一時点がなく、ただ漠然と過去の継続状況を述べる場合」には用いません（その場合は、過去の習慣や固定的な状況を表す「過去形」を用います（Lesson 24 ④⑤を参照））。

⑤ Bob は (かつて) 3 年間、警備員をしていた。

✗ **Bob had been a security guard for three years.**

○ **Bob was a security guard for three years.**

● ● VOCABULARY

□ **try to Vb**

**動** Vしようとする、Vするよう努める

□ **contact** [kɒn'teɪkt] [kɒn-]

**動** …に接触する、…に連絡する **名** 接触、連絡

□ **go home**

**動** 帰宅する (\* home は「家へ」という副詞)

□ **hear of** …

**動** …のこと [存在、名前] を耳にする

- author** [ɔ:t'hər]
- problem** [prə'blem] [prɒb-ləm]
- several** [sé'verəl]
  
- gain weight** [géin wéit]
- for the last ...**
- security guard**  
[sikjúərəti gá:rd]

- |          |  |
|----------|--|
| <b>名</b> | 著者、筆者、起草者、立案者                            |
| <b>名</b> | 問題、課題                                    |
| <b>形</b> | いくつかの (* 2, 3 より多く many よりも少ない漠然とした数を表す) |
| <b>動</b> | 体重が増える (反 <b>lose weight</b> 体重が減る)      |
| <b>副</b> | この [直近の] …の間 (同 <b>for the past</b> …)   |
| <b>名</b> | 警備員、保安要員、ガードマン                           |

表「最初の一歩」では、(1) ケネスのモードで話すのと(2) ハンクのモードで話すのが自然な流れ。2つが最初の一歩をつなぐのが、これです。(2) まん中で(1)はつづけて、左側の古巣(おとね)の会話(うわせ)。(3) 2つとも、(合衆国) 脱多民族の多文化社会(マックス・マックス) すなはち「混交族」を告白するのです。

「最初の一歩」を撮影後、脚本を「アーヴィング・カーネギー」の「How to Win Friends and Influence People」から引用した。左側の古巣(おとね)の会話(うわせ)。

### 例文に登場する主なキャラクター (7)



**Hank (Henry)**  
祖父が創業した Evans  
社の3代目社長。病死後、  
息子の Bill が後を継ぐ。  
Ted の古くからの顧客。

# Lesson 30

## 過去完了形：大過去を表す場合

次の2つの文の意味の違いを、下線部（赤）に注意して、考えてみましょう。

- ① When Joe arrived, Pat left.  
 ② When Joe arrived, Pat had left.

①は「Joe が到着した時、Pat は立ち去った」という意味で、過去形の left は arrived と同時か直後のことです。②は Lesson 29 ①の had gone と同じ結果の用法で、「Joe が到着した時、Pat は（既に）立ち去っていた」という意味です。過去完了形 had left は過去形 arrived の時点での結果を示していますが、had left（立ち去った）という行為自体は arrived よりさらに過去の時点で生じています。



このようにして、過去完了形は、過去の一時点から「さらに過去に遡った時点」（この時点を「大過去」と呼びます）を表すのにも用いられます。次はその例です（「had+過去分詞」の「過去分詞」は dropped と left の2つ）。

- ③ At 19, Bob worked as a plumber. He had dropped out of high school and left home.

⇒ 19歳の時・Bob は働いていた・配管工として。彼は（それ以前に）中退した・高校を・そして・去った・家を。

⇒ 19歳の時、Bob は配管工として働いていた。彼は高校を中退し、家出をしていたのであった。

\* この過去完了形は「結果」の用法と「大過去」のどちらにも解釈が可能です。

下線部（赤）を「過去形」ではなく「過去完了形」にした理由は、過去形 (dropped ... and left ...) にすると、worked より「後」の行為だと誤解される可能性があるからです。worked より「前」であることを明確にするために過去完了形を用いて過去に遡ったのです。さらに別の例を見てみましょう。

## (4) There were lots of puddles. It had rained the previous night.

☞ あつた・たくさんの水たまりが。(それ以前に) 雨が降っていた・前の夜に。

→たくさんの水たまりができていた。前の晩に雨が降ったのだ。

\* the previous night の前に置く on は省略してもしなくてもかまいません。

この過去完了形 (had rained) は were より「前」であることを示すためですが、副詞句 the previous night の存在が were より「前」であることを明白にしているので、過去形 (rained) にしてもかまいません。過去完了形は**時間的順序の混乱を避ける手段**ですから、混乱の心配がない場合は過去形でかまいません。

## ● ● VOCABULARY

**arrive** [ə'ravɪ] 到着する、着く、届く、生まれる

**leave** [lɪv] (…を) 立ち去る、(…を) 出発する (\*例文①②)

**at** 年齢

**as**

**plumber** [plʌmər] (水道・ガスなどの) 配管工、水道工事屋

**drop out (of …)** [drəp | drɒp] (…を) 中退 [退学、棄権、離脱] する

**leave home** [hóum] 家を出る、親元を離れる (\* home は名詞)

**lots of** [lóts | lóts]

**puddle** [pádl]

**rain** [reɪn]

**previous** [prí:viəs]

**動** 到着する、着く、届く、生まれる

**動** (…を) 立ち去る、(…を) 出発する (\*例文①②)  
の left は過去形 (不規則動詞の活用は R13)

**副** <年齢>の時に (同 at the age of …, at age …)

**前** …として、…の時に

**名** (水道・ガスなどの) 配管工、水道工事屋

**動** (…を) 中退 [退学、棄権、離脱] する

**動** 家を出る、親元を離れる (\* home は名詞)

**形** たくさんの (同 a lot of)

**名** (道路などの) 水たまり

**動** 雨が降る **名** 雨 (動 snow 雪が降る)

**形** その前の、以前の (副 previously 以前に)